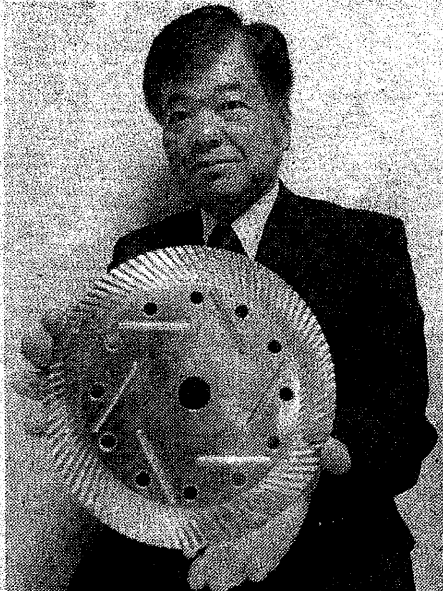


開発回転刃 威力に除草

センターインコーポレーション 行田

機械器具卸売業のセンターインコーポレーション(行田市、仲内隆夫社長)は、コンクリート面での草刈りに適した刈払(かきほらい)機用のステンレス製回転刃「ナイス・カッティング」を開発し、販売を始めた。コンクリートやアスファルトに触れても回転刃が割れず、草を刈るほど切れ味が増すのが特徴だ。

道路の路肩や中央分離帯などのコンクリートの隙間に生えた雑草は交通の見通しを阻害したり、雑草の根が張る敷設箇所の損壊要因にもなる。土面の除草と違い、刈払機の回転刃がコンクリートに接触すると刃先が砕けて飛散する危険もある。手作業での除草は労力と時間がかかり、公共事業などの道路除草の現場ではやっかいな作業だ。



「ナイス・カッティング」回転刃を開発した仲内隆夫社長

(大内隆顕)

味切れほど、用コンクリ



コンクリートに刃が接触しても安全にきれいに除草できる

ステンレス加工が盛んな新潟県燕市の工房との技術提携した。極薄ながら高硬度なステンレス板に波状の加工を施し、「頑強・切れる・さびない」刃を実現した。耐久性は、刈払機を1分間に3千回転で使用した場合で50〜60時間。価格はオープンで実勢価格は2980円から。

仲内社長は「道路の除草作業を素早く安全にきれいにできる回転刃は現場の作業従事者のニーズ。この刃が作業の省力化と環境美化に役立てば」と期待を込める。

問い合わせは同社(048・553・1887)へ。

17年ぶりの消費増

消費税率が4月1日、5%から8%に引き上げられた。税率アップは17年ぶりで、社会保障制度の安定に向けた第一歩を踏み出した。だが、上向いていた景気には反動減の長期化だ。7家計の節約意識で急ブレーキがかかり、安倍晋三首相は来年10月にと2四半期連続のマイナスを定めた10%への増税を1年半延期することを決断した。首相は11月18日、消費増税の影響で経済指標が大きく揺れた1年だった。1〜3月期の実質国内総生産(GDP)は、2017年4月に延期増税前の駆け込み需要を背景に年率で前期比5.8%増と急進した。その反動で4〜6月期は6.7%減と、東日本大震災時の落ち込みを記録した。

証 原油安で大幅続落 追加緩和以来の低水準

16日の東京株式市場は原油安による世界経済の減速懸念が強まり、全面安となった。日経平均株価(225種)は大幅に続落し、終値は前日比3.44円08銭安の1万6755円32銭。日銀が追加金融緩和を決めた10月31日以来、約1ヵ月半ぶりの低水準となった。衆院選後2日間での下げ幅は600円を超えた。追加緩和後に上昇基調をたどった平均株価は今月8日に1万8000円台を一時回復したが、その後、売りに押される場面が目立っている。16日の東証株価指数(TOPIX)は25.92安の1.3